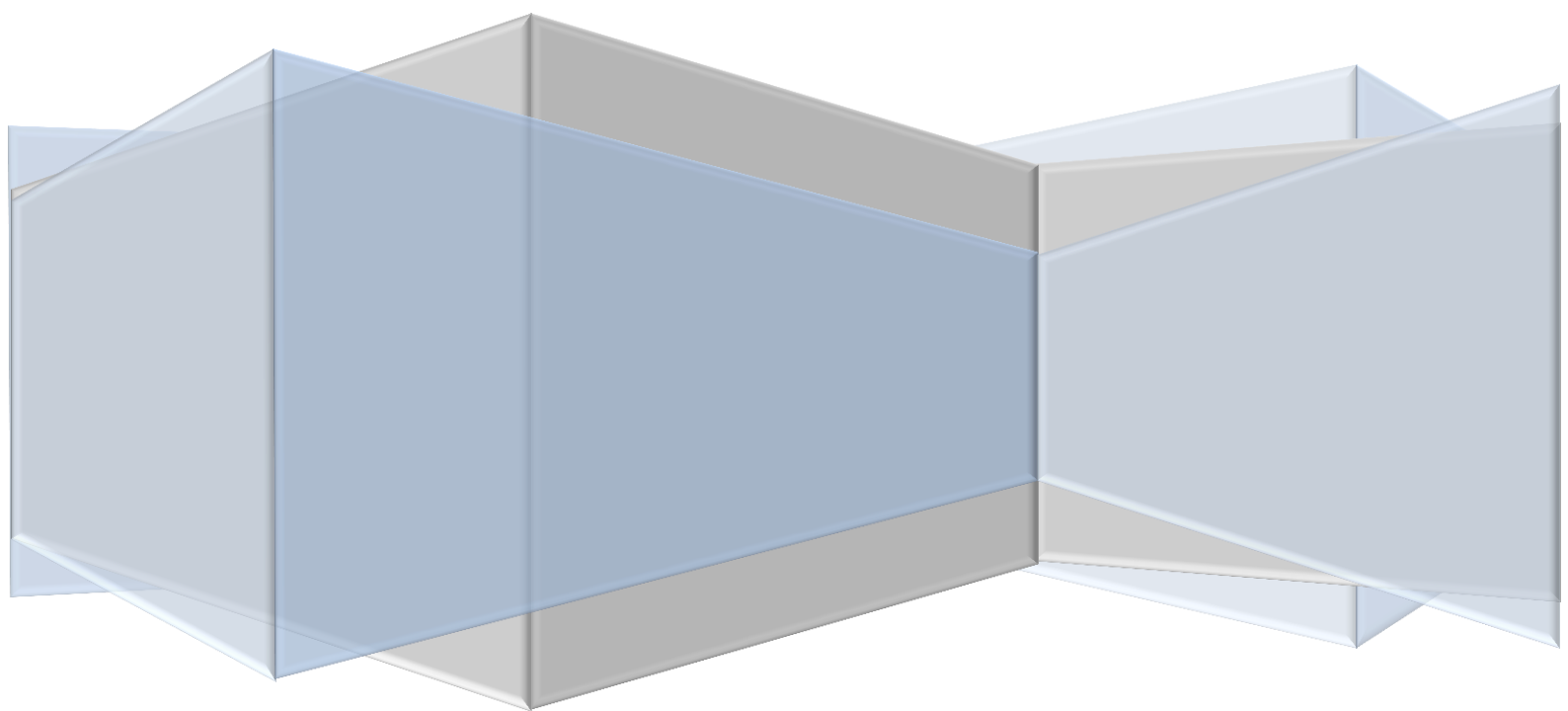


ロストガード Ver1.2

インストールガイド

株式会社コラボレーションシステム

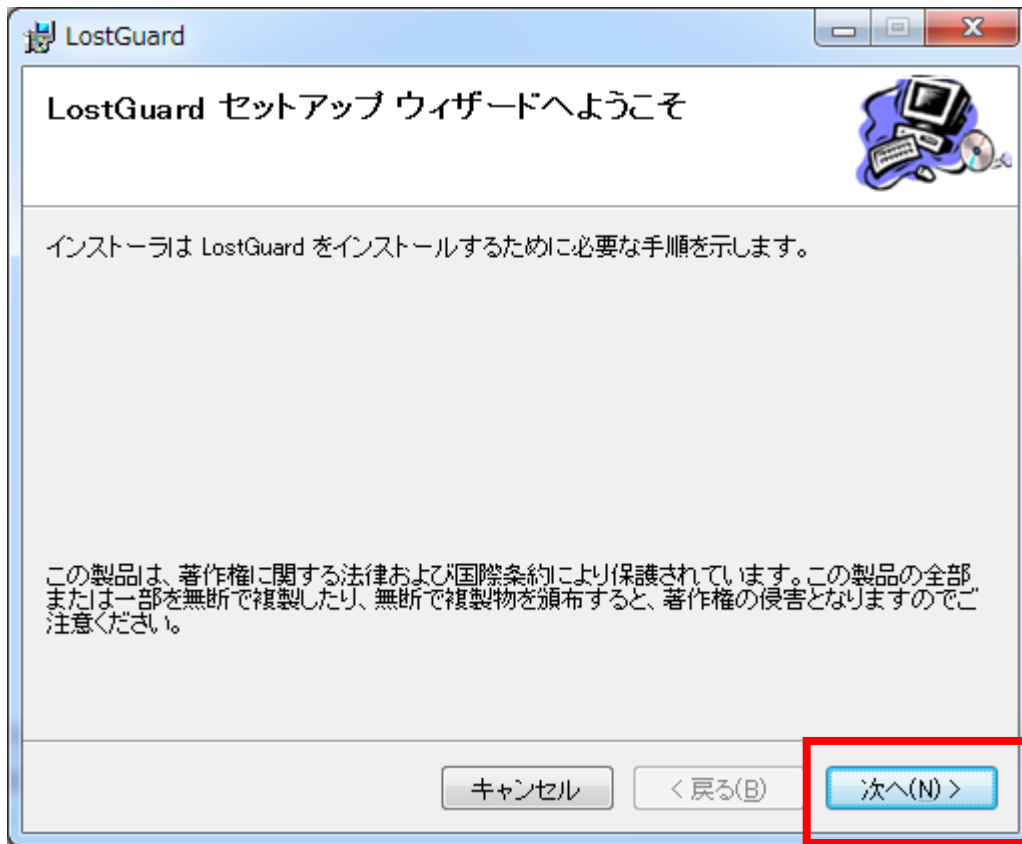


内容

1. インストールプログラムの実行	2
2. ロストガード動作設定	5
2.1. メッセージボックス処理設定	6
2.2. 忘れ物履歴ログ設定	6
2.3. SMTP 設定	7
2.4. 管理者パスワード設定	7
2.5. メール送信処理設定	8
3. ライセンスの設定	10
4. アクセス権限の設定	11
5. ログオフ時の自動起動設定	12
6. 検証時の利用方法	14

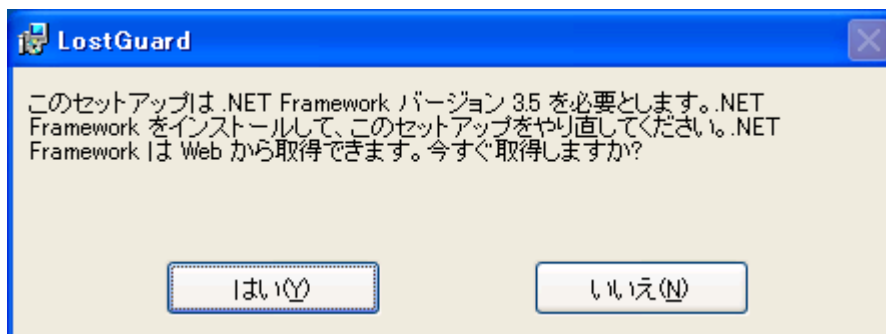
1. インストールプログラムの実行

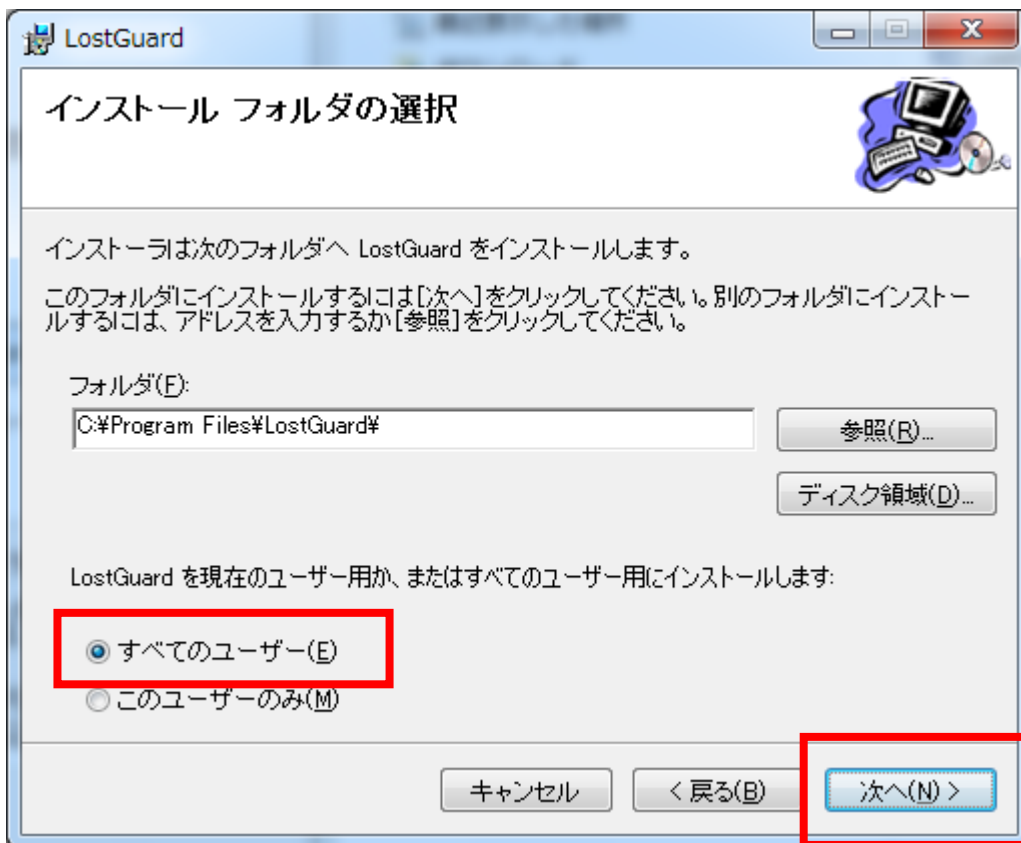
管理者権限でインストールプログラムを起動します。 “LostGuard_V1.2.msi”



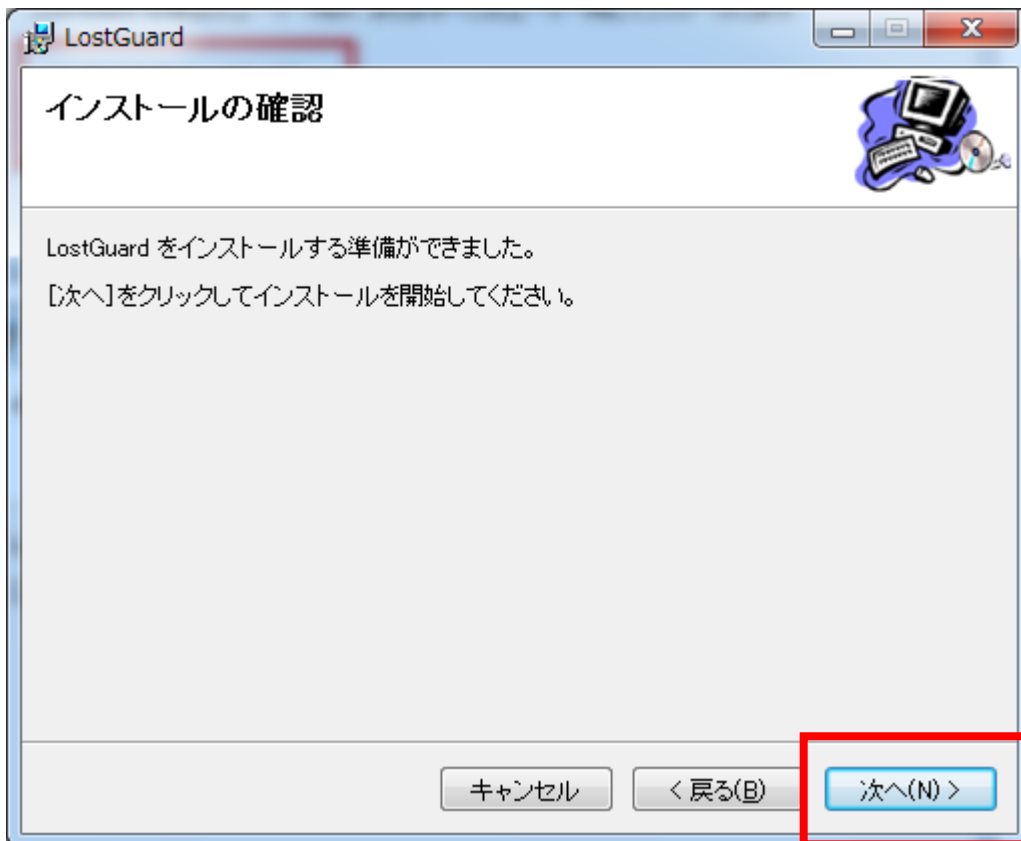
ドキュメント中の画像は Windows 7 になります。(Windows Vista、Windows XP も同等)

WindowsXP、Vista の場合は、以下の画面が表示されますので、先に「.NET Framework3.5」をインストールしてください。

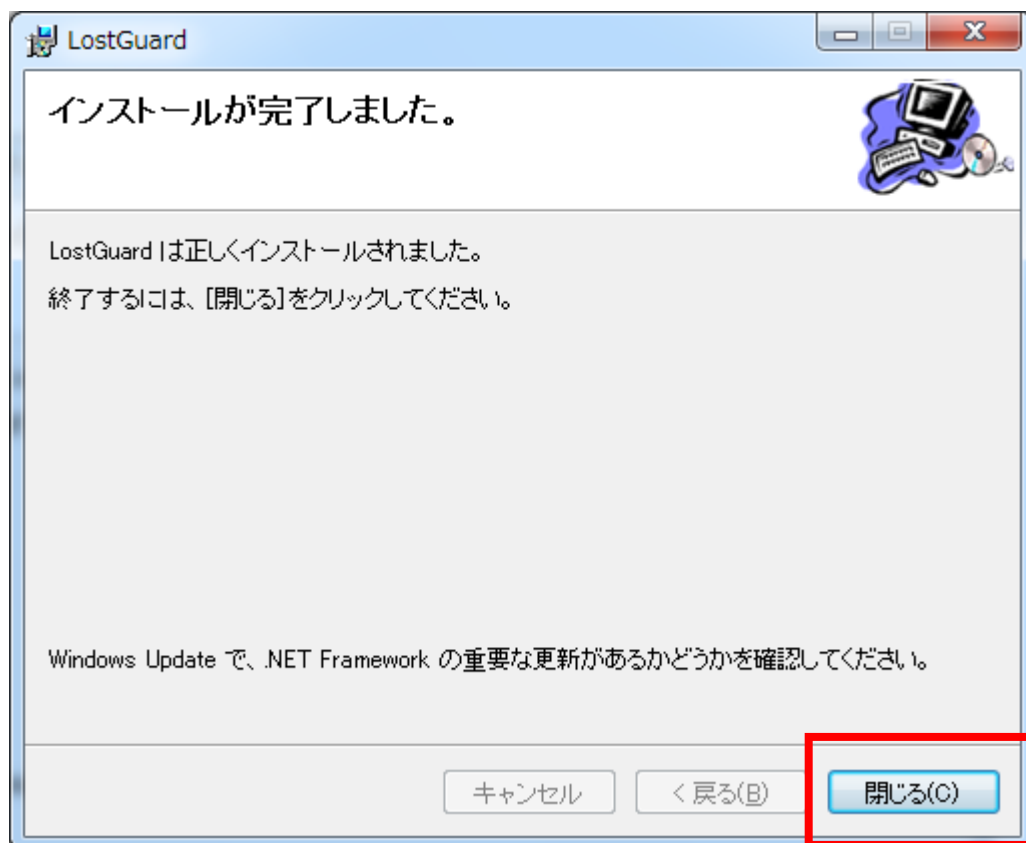




インストールフォルダを変更する場合はフォルダ名を指定してください。
64bit 版の場合は、“Program Files”を“Program Files(x86)”と読み替えてください。



ユーザーアカウント制御が有効になっている場合は若干時間がかかります。



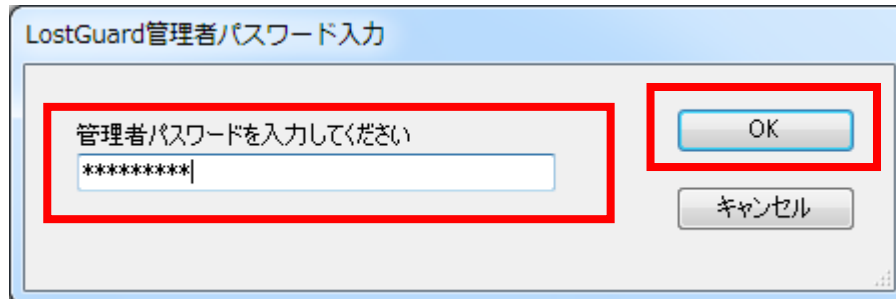
これでインストールは完了です。

次ページ以降の記載内容を参考に「ロストガード動作設定」を行ってください。

2. ロストガード動作設定

設定プログラムを起動してください。“C:\Program Files\LostGuard\config\LostGuardSetting.exe”
管理者パスワードの初期設定は“LostGuard”になっています。

※エラーメッセージ「ファイルを復号化出来ませんでした」が表示される場合は、項目4の「アクセス権限の設定」を行ってください。



次ページ以降の記載内容を参考に設定を行ってください。

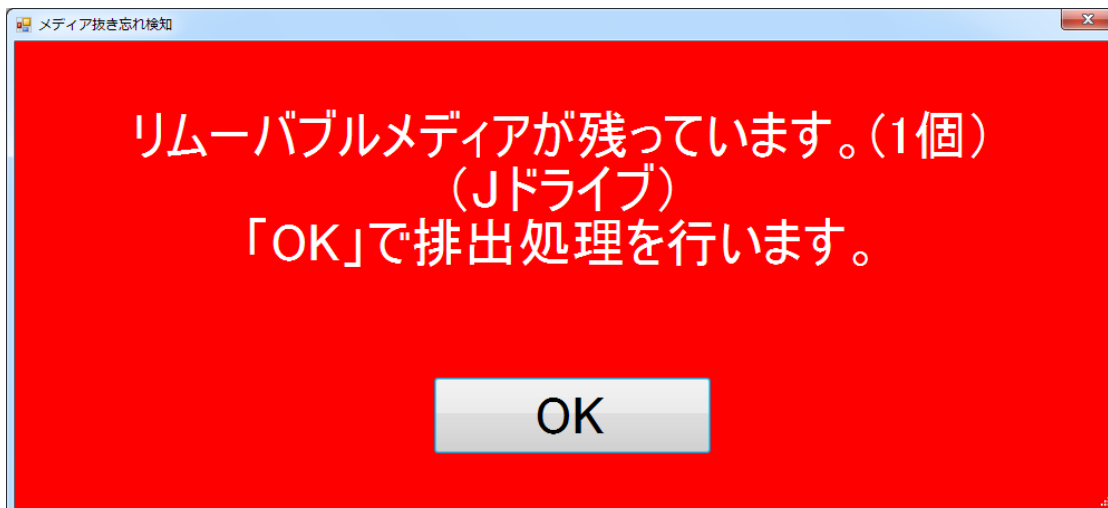
2.1. メッセージボックス処理設定

メッセージボックスの処理設定(メディア抜き忘れ時)

表示時間設定(0から999) 秒 ※「0」を設定するとメッセージボックスを開けるまで表示します。

「表示時間設定」で指定した秒数の間、警告メッセージを表示させます。

<例：メディア抜き忘れ検知画面>



“0秒”にすると、「OK」をクリックするまでパソコンの終了処理が中断されます。

2.2. 忘れ物履歴ログ設定

忘れ物履歴ログ設定

忘れ物履歴ログ 記録しない 全てを記録 忘れ物を記録

忘れ物履歴フォルダ

「全てを記録」、「忘れ物を記録」を選択すると、検知履歴を記録することができます。ログファイルが書き込まれるフォルダのアクセス権は、後述の「アクセス権限の設定」を参照してください。また、64bit版の場合は、「Program Files」を「Program Files(x86)」に変更してください。ファイルサーバ等の共有フォルダを指定すると、共有フォルダにログを保存できます。ファイル名は、忘れ物が発生した場合は「lost.log」、回収した場合は「collect.log」となり、それぞれ内容が追記されます。

・記録される内容

日時、ユーザー名、パソコン名、検知したメディアの個数と最上位フォルダのファイル一覧。

「全てを記録」を選択した場合、利用者が「OK」をクリックし、メディアを回収したと判断できる場合も履歴を記録します。「忘れ物を記録」を選択した場合は、利用者が「OK」をクリックせずにメディアをそのまま放置したと判断できる場合だけ記録します。

2.3. SMTP 設定

SMTP設定

SSL 使用 未使用 ポート番号 SMTP認証 使用 未使用

SMTPサーバー
(サーバー名 or IPアドレス)

SMTP認証ID

SMTP認証パスワード

必要に応じて SMTP サーバー関連の設定を行います。

「メール送信処理設定」タブ内の設定でメールを「送信する」に設定している場合は、必ず設定を行ってください。

「SMTP 認証パスワード」の「表示」をクリックすると入力したパスワードが表示されます。

2.4. 管理者パスワード設定

管理者パスワード設定

管理者パスワード

設定プログラムの起動パスワードを設定します。

初期設定は“LostGuard”となっていますので、必要に応じて変更してください。

「表示」をクリックすると入力したパスワードが表示されます。

ライセンス設定プログラム（後述）の起動パスワードも同じ値になります。

パスワードを忘れた場合は、以下の「設定ファイル」を削除してください。

設定した内容は全てクリアされますのでご注意ください。

設定ファイル： “C:¥Program Files¥LostGuard¥config¥config.enc”

設定が終わりましたら「適用」をクリックし、「メール送信処理設定」タブを開いてください。

2.5. メール送信処理設定

管理者、利用者宛でのメール送信設定を行うことができます。

通知メールは、「メディア抜き忘れ検知」画面で利用者が「OK」をクリックしなかった時に作動します。利用者が「メディア抜き忘れ検知」画面に気づいて「OK」をクリックした場合は、利用者によってメディアが回収されたと判断し、メール送信設定になっていてもメールは送信されません。

<具体例>

- ・ 「メッセージボックス処理設定」で、「表示時間設定」を「20」秒に設定
1. 利用者がパソコンの終了指示を行い直ちに離席
 2. 警告音を鳴らし、警告メッセージを表示する（利用者は気がつかない）
 3. 20秒後に利用者が居ないと判断し管理者（利用者）へメールで通知
 4. パソコンの終了処理を継続

（運用判断） ・ 管理者もしくはアシスタントによりメディアの回収作業

メールの本文には、以下の情報が含まれます。

- ・ 日時
- ・ ユーザー名
- ・ パソコン名
- ・ 検知したメディアの個数と最上位フォルダのファイルの一覧

<メール本文例>

下記パソコンにてメディアの抜き忘れが発生しています。

日時：2011/06/01 18:45:06

ユーザー名：USER001

PC名：PC001

忘れ物：

CD/DVD ドライブに、ディスクが残っています。(1枚)

リムーバブルメディアが残っています。(1個)

(G,J ドライブ)

J:¥EXCEL.xls

G:¥Word.doc

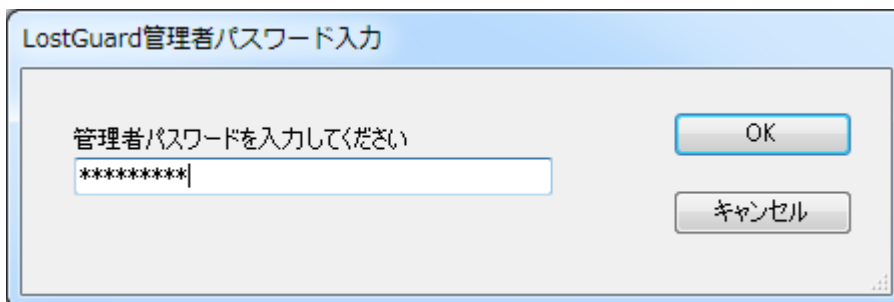
LostGuard

注意事項

メール送信の設定は、前述の「メッセージボックス処理設定」で、「表示時間設定」が“0”秒の時には動作しません。

3. ライセンスの設定

認証プログラムを起動します。“C:\Program Files\LostGuard\config\LostGuardLicense.exe”
管理者パスワードを入力します。初期設定は“LostGuard”になっています。



ライセンスキーを入力し、「認証」をクリックします。

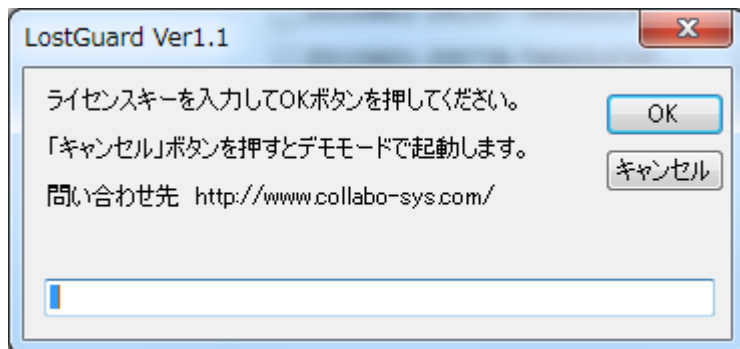
ライセンスキーが正しい場合は、「ライセンスキーの状態」が「認証済み」になります。

「表示」をクリックすると入力したライセンスキーが表示されます。

ライセンスファイルは以下のファイルに保存されます。

ライセンスファイル：“C:\Program Files\LostGuard\config\license.enc”

ライセンスキー認証を行っていない場合、ロストガード起動時に以下の様なライセンスキー入力画面が表示されます。ライセンスキーを入力し認証を行うか、「キャンセル」をクリックすると動作を続けます。事前の動作検証の際には、「キャンセル」をクリックしてください。



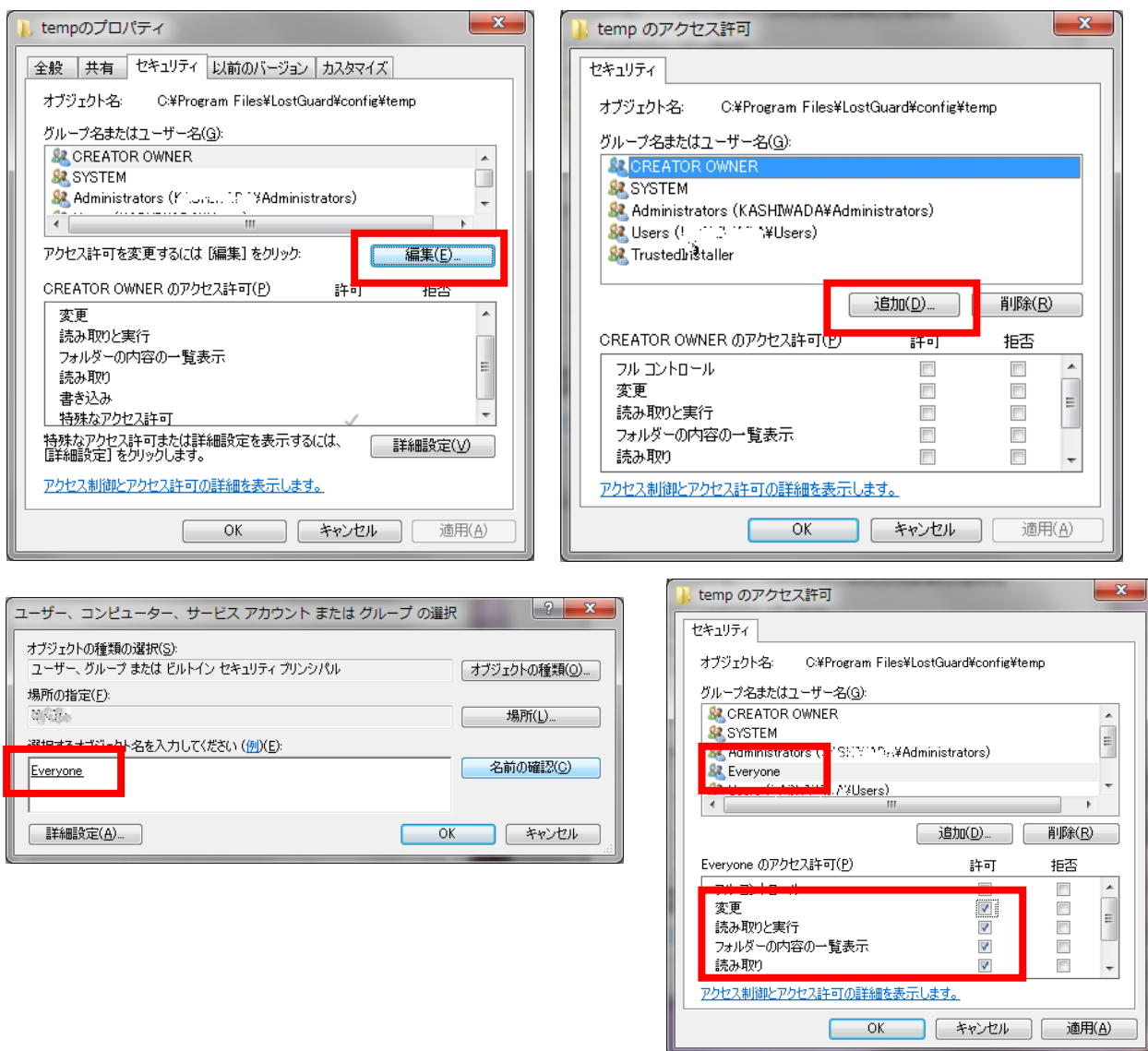
4. アクセス権限の設定

以下のフォルダとファイルにアクセス権限を設定してください。

C:\Program Files\LostGuard\config\temp	一時フォルダ 忘れ物履歴ログ	「変更」権限
C:\Program Files\LostGuard\config\config.enc	設定ファイル	「変更」権限
C:\Program Files\LostGuard\config\license.enc	ライセンスファイル	「変更」権限

ロストガードを管理者権限で実行する場合は必要ありませんが、ドメインユーザー等の利用者権限で動作させる場合は、実行するユーザーに上記の権限が必要になります。セキュリティ上問題が無い場合は、「everyone」に「変更」権限を付与してください。

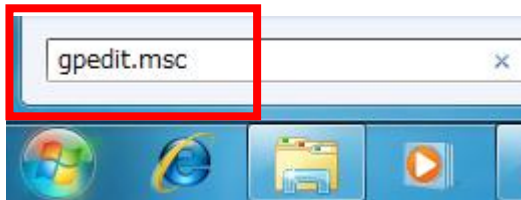
<設定例>



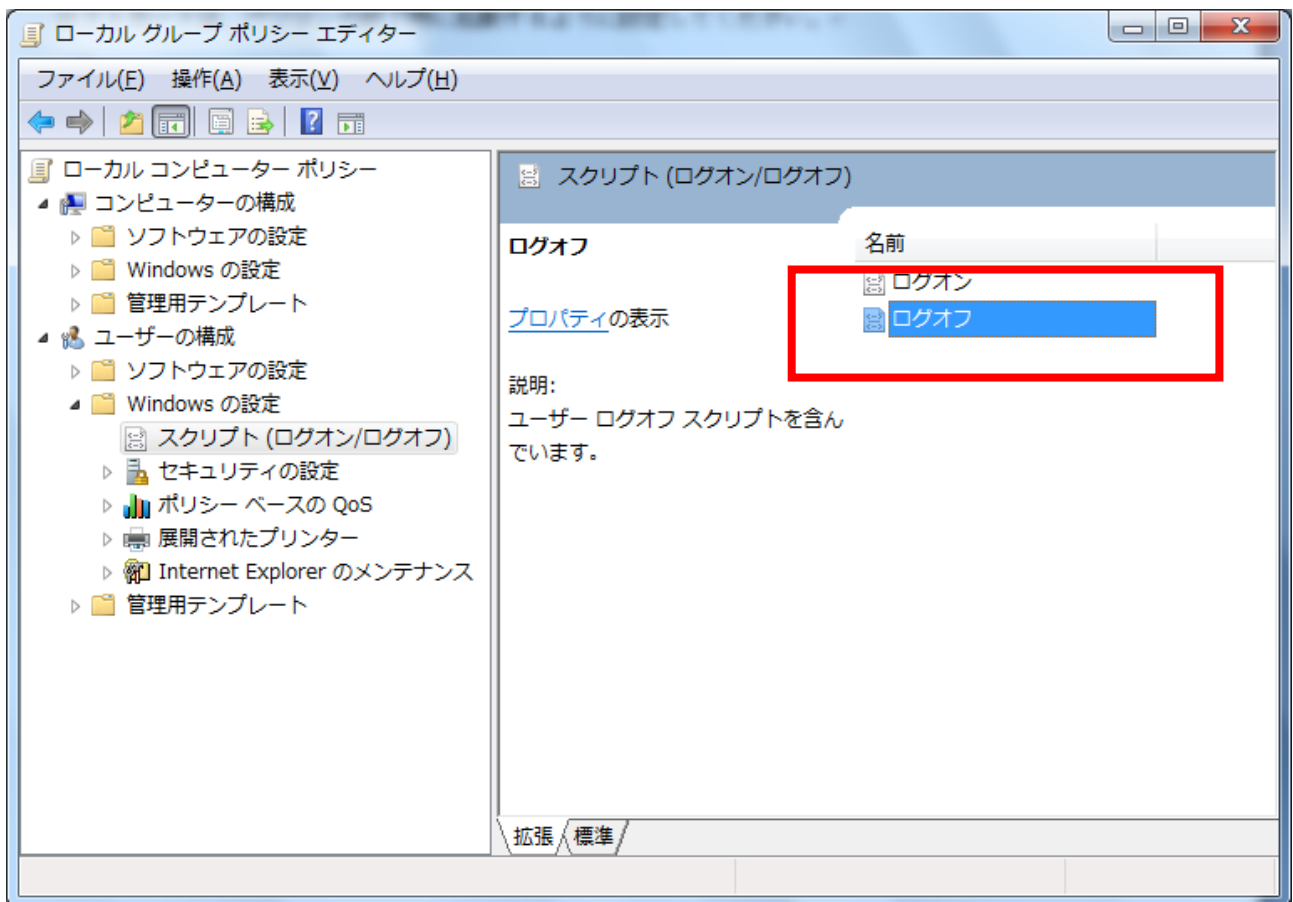
5. ログオフ時の自動起動設定

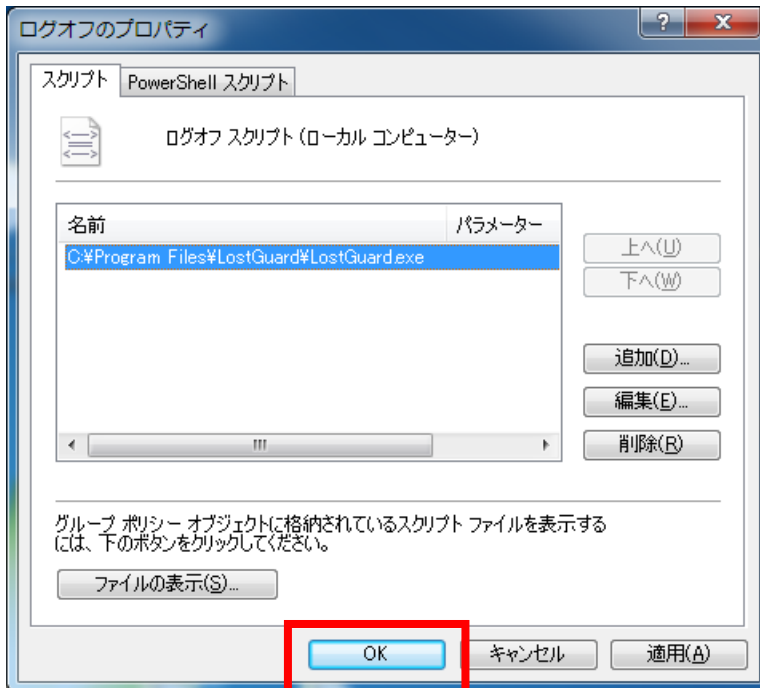
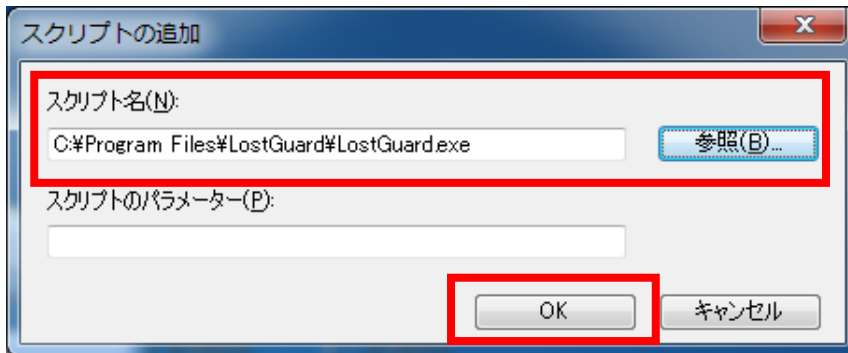
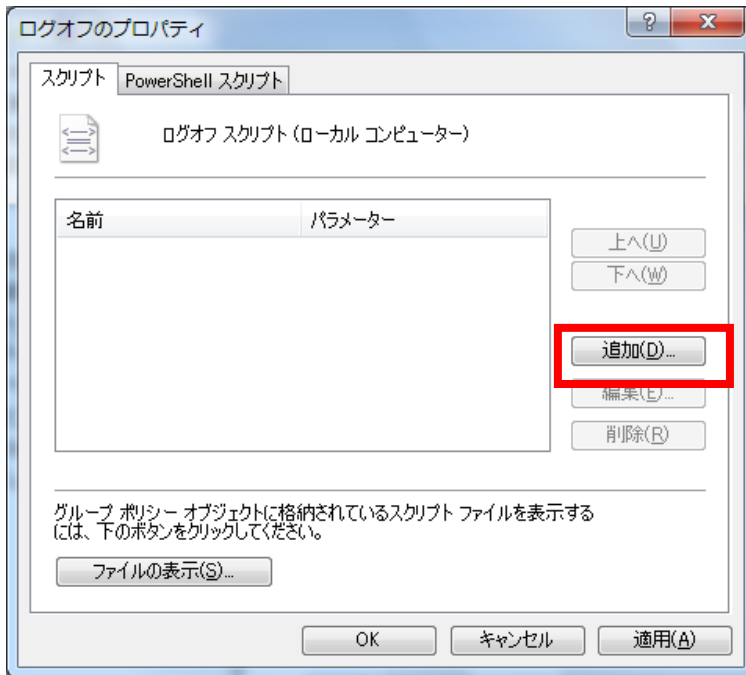
ロストガードをパソコンの終了時に起動するように設定してください。

グループポリシーのログオフスクリプトで起動するように設定を行います。



gpedit.msc

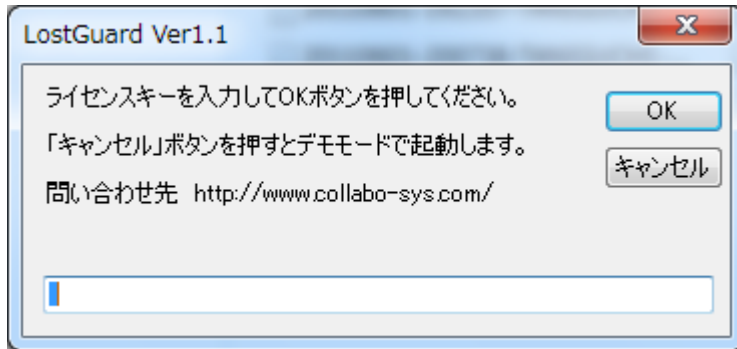




6. 検証時の利用方法

ライセンスキー認証を行っていない場合でも検証用としてご利用いただけます。

ロストガード起動時に以下の様なライセンスキー入力画面が表示されますが、「キャンセル」をクリックすると動作を継続します。



以上